

2013年度第1回日本学連幹事会議事録

開催日 2013年(平成25年)6月8日(土)
会場 三島市民体育館大会議室(静岡県三島市)

【議題】

1. 自己紹介
2. 後援申請
(岩手大学・岩手県立大学オリエンテーリング大会、第7回名大相大オリエンテーリング大会)
3. 事務機構員の承認
4. JOAとの関係について
5. パンチングシステムに関する細則について
6. 千葉大・東工大大会の共催について
7. 不動の滝(南)と日光愛宕山の完全接合地図作成について
8. 地図会計について
9. 理事会報告
10. 技術委員会報告
11. 各部局活動報告
12. 各地区学連活動報告
13. 次回幹事会について

【出席者】

氏名	役職	学校名
筆谷敏正	理事長	早稲田大学卒
木村佳司	理事	山口大学卒
山川克則	副会長	東京大学卒
大西康平	技術委員会委員長	京都大学卒
山本淳史	幹事長	東京大学
新谷国隆	副幹事長	名古屋大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
山田晋太郎	事務局長	東京工業大学
杉村俊輔	普及部長	東北大学
平野弘幸	渉外部長	東北大学
山田陽子	会計	早稲田大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
千葉聡美	北東学連幹事長	宮城学院女子大学
高嶋健伍	北信越学連幹事長	金沢大学
佐藤大樹	関東学連幹事長	東京工業大学
川上雅人	東海学連幹事長	名古屋大学
宇井賢	関西学連幹事長	京都大学

(敬称略)

議事録作成:高橋 秀明(広報部長・金沢大)

2013年度第1回幹事会議事内容

議事録作成者:高橋 秀明(広報部長)

発言者 (敬称略)	発言内容など
	幹事会開始:13時23分
	<p>1.2013(平成25)年度日本学連幹事自己紹介(13時23分～13時24分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の日本学連幹事の自己紹介を行った。 <p>今年度幹事については、日本学連ホームページを参照</p>
山田(晋)	<p>2.後援申請(13時24分～13時33分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●岩手大学・岩手県立大学大会、第7回名大相大会の後援申請を、それぞれ承認した。 ●千葉大・東工大大会の共催については、議題6を参照。 <p>(1)岩手大学・岩手県立大学オリエンテーリング大会後援申請 開催予定日・場所:2013年9月8日、岩手県岩手郡滝沢町 →承認(13人中賛成13反対0)</p> <p>(2)第7回名大相大会オリエンテーリング大会 開催予定日・場所:2013年10月5～6日、小幡緑地公園本園(愛知県名古屋守山区) →承認(賛成13反対0)</p> <p>(3)千葉大・東工大大会の共催について 日本学連の新しいトレイン展開・大会開催の考え方にに基づき開催される大会で、しかも春インカレ本番とトレインも隣接し、統一した渉外活動も求められるため、地元には「インカレプレ大会」として、学連として、まとめてお知らせをしている。名義使用は、後援ではなく共催が適切と考える。</p>
山田(晋)	<p>3.事務機構員の承認(13時33分～13時36分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●深田恒(東京2)、蜂須賀久晴(東京3)、田村美香(津田塾3)の3名について、事務機構員とすることを承認した。 <p>事務局を運営するにあたって事務局の事務作業を手伝っていただく、事務機構員を設置したい。その設置には、幹事会の承認が必要となるため、承認をしていただきたい。 昨年度、事務機構員は不在だったが、それ以前は3、4人いたようである。 主な仕事内容は学連登録補助である。作業量が多いため、設置したい。 →承認(賛成13反対0)</p>
山本	<p>4. JOAとの関係について(13時36分～14時20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山本、木村から現在の進展状況について説明され、さしあたっての課題である、学連からJOAへの情報提供の問題などについて議論した。進展状況について、学連加盟員のJOAへの競技者登録費を免除し、学連登録をすることでJOA競技者登録される仕組みを構築し、平成26年3月(または5月)をめどに加入することを目標とするという方向性は、JOA総会でも確認されている。この方向性を学連でも秋の総会で承認するように進めたい。情報提供については、学連もJOAのほしいであろう情報を持っていないことがわかったので、さらにJOAとの間で話し合いを進める。 <p>資料配布 平成23年からJOA(日本オリエンテーリング協会)と日本学連がもっと協力していこうと、連絡協議会を毎年開催し、話し合っている。JOAの正加盟員になろうという話になっている。現在のJOAの正加盟員は都道府県協会であり、そのレベルに日本学連が加盟することで、双方にとっていいのではないかと話が進んでいる。「平成26年3月(または5月)を目標に加入を進めている」、「JOAへの競技者登録費を免除し、学連登録をすることでJOA競技者登録される仕組みを構築する」という方向性は、JOAの総会で確認されている。ただ、いろいろな障害がある。</p> <p>☆それぞれの立場のメリットと課題</p> <p>【学連側】 【メリット】 ○登録費の減免 ・JOAの競技者登録がないと、公認大会出場時に一時登録料500円が必要 ・登録料は学生の場合1000円かかり、現在約500名が登録。 ・学連がJOAの正加盟員となると、学生は学連登録と同時にJOA登録される。 →学連登録料を払うことで、競技者登録料が不要となり、公認大会に一時登録料を支払わずに参加できる。 ○JOAに理事を出すことで、JOAに対して公式に発言できる ・ただし、理事選出規定の改定が必要 ○内閣府認定の公益社団法人の正会員として学連組織が認定される。 ・昨年6月にJOAは公益社団法人に認定されたので、その下部組織となれば、内閣府とつながる。 ○インカレをJOAとの共催とすることも可能になる。 ・実際、競技団体によっては共催がある。 →JOAとの共催にすれば、JOA会長印がある賞状を出せる可能性がある。 内閣府認定の公益社団法人会員として、インカレチャンピオンを認定。インカレチャンピオンの格の向上。 ただし、共催は強制ではなく、インカレの運営上の干渉はない。</p> <p>【課題】 ○年会費10万円、入会金50万円 →分割も可としたいが、学連の財政的には、一括支払いが可能であろう ○JOAの一会員として、公認大会の開催ができるか(インカレ併設が可)</p> <p>【JOA】 【メリット】 ○競技者数の増加及び組織強化 ・JOCへの(準)加盟に向けて、国内組織が一体化していることをアピールできる。 ○会費の収入増加 ・会費は10万円、組織育成費は不要</p>

- 学生の情報の入手が可能
 - ・全日本リレーなどでのチーム編成や、卒業後学生に続けてもらえるための勧誘がしやすくなる。
 - ・何を集めるかなど、細かいことは今後詰めることになるだろう。
 - ・すでに連携が取れている協会にとってはメリットは少ない。
- 一時登録が必要となることによる、公認大会への大学生の参加者増加
 - オリエンテーリング界の活性化

【課題】

- 競技者登録費(約50万円)の収入減
 - ・競技者登録料をなくすので、1000円/(年・人)×500名(登録済み)=50万円の収入がなくなる。
 - ただし学連から年会費10万円が支払われる。
- 競技者登録番号の付与方法
- 高校生の登録をどうするか
- インカレと公認大会を併設した際のエリート権の付与方法

【JOA会員(都道府県協会)】

【メリット】

- ふるさと登録の情報
 - 全日本リレーや就職時に地元クラブとのコンタクトが取れる。(個人情報問題は?)

【課題】

- すでに学生の登録が多い協会は、会費収入が減少する。
 - ・年会費の半分は居住地の都道府県協会にフィードバックされている。学連が都道府県協会と同じ位置になると、学連から直接登録するようになり、フィードバックがなくなって、ダメージがある。

◆会員からのコメント

- ・これまでは組織育成費を学生に還元して(合宿等の強化費)、会員(都道府県協会)と学生との連携を務めてきた。
 - 学生との連携を妨げるものではない。
- ・学生の競技者登録が多く収入源になっている。(登録費免除制度を利用している場合もある)
 - 収入は減少するが、競技者の情報を活用する方法を提供できないか? サポートできないか? 都道府県協会の収入が減る分情報を与えて、何とかできないか。

◆JOA業務執行理事連絡会

- ・業務執行理事連絡会では、学連登録=JOA競技者登録とした。つまり、JOAの登録料は不要。
 - ただし、JOA総会ではまだ決まっていない。

- ・収入が減る会員(都道府県協会)を説得できるかどうかは課題。特に、学生の競技者登録の多い愛知、宮城、新潟などの説得が必

◆JOA総会で出ている話

- ・競技者登録の際の所属ははっきりさせてほしい。(どこの都道府県協会に属するか)
- ・学生の情報は、名前・学年・大学名だけではあまり意味がない。連絡ができるようにできないか。(住所やメールアドレスなど)
 - ただ、個人情報なので、学連で取り扱いについて話さないといけない。
- ・学生が地域の大会に出やすい仕組みを作りたい。
- ・卒業後、地域クラブに入る仕組みを作りたい。
- ・日本学連は普及のために何かしているのか。

まだ理事会などで決まったわけではなく、話が出ただけであるが、学生の情報(特に住所やメールアドレスなど)を使うことが可能かどうか、話し合いたいところである。

木村

JOAの藤井が来たいと言っていたのだが、来られなかったので代わって話をする。
私は、長い間日本学連のほうに携わり、JOA業務執行理事会にも最近出ている。
基本的には、日本学連はJOAに加盟したいと昔から思っている。その理由は、日本学連が日本の学生のオリエンテーリングを代表する組織ということを明らかにしたかったからである。そうしなければ、ユニバーの選手や日本チャンピオンが出せない。JOAは公益社団法人であり、日本で唯一のオリエンテーリングを統括する組織として内閣府から承認されている。広く国民の体力増進のために、活動するようになったが、そうなったのは、ほんの1年ぐらい前である。
この時に大幅に約款を改定した。今までは都道府県の代表のみがJOA会員となることができたが、学生を取り込むという意味のもと、約款が変わっており、企業やいろいろな団体が入れるようになった。その第一の想定は日本学連である。
JOAはIOFの唯一の窓口という、もう一つの顔を持っている。IOFはWOC、JWOCやユニバーを開催している。
また、JOAは、最近JOCの承認団体として認可されそうである。(※注)新しく承認団体になれば、JOCからも、JOAは広くオリエンテーリングの活動団体と認められたということになる。そうすると、ユニバーシアードやアジア大会に出場するときは、JOAが窓口となる。JOAは着々と準備を進めている。学連を迎え入れろうとしている。
(※注)今回の幹事会開催後である6月27日、JOCは、JOAをその承認団体とした。

JOAと学連は同規模であり、単純に下部組織になるのではない。2つは並び立っており、一会員として顔を出すような形になる。
JOAの仕組みとしては、各都道府県協会から、年会費(10万円)と入会費(50万円)を徴収している。
また、会員になることと競技者登録は、本来ならば、まったく別物である。しかし、学連の仕組みでは、学連登録=学連競技者登録となり、学生をJOAのイベントに出してほしいということで、学連登録と同時に無料でJOAの競技者登録される方向である。その話を、今月のJOA総会や理事会でお話した。その方向性でよいとされている。
その際、お金や、細部の条件立てについては、もう一回学連幹事会で話するという条件になった。
5月のJOA総会で、学連の来年度からの加盟してほしいという方針が出た。JOA側は、ぜひ秋の学連総会でその方向を決定し、春の総会で再度確認をして、新年度から会員として迎える動きを進めてよいということである。
JOAを構成する都道府県協会の一つの大きなイベントとして、全日本リレーがある。地方から都会に出ている学生は多く、(地方の協会は)そういった人たちに選手として出てほしいのだが、誰に、どのように声をかけていいのかわからずにいる。
私の意見としては、競技者登録の時に、ふるさと登録のような形で、どこの出身であるかも登録すればよいと思う。名前、大学名、出身県がわかっただけでは、あとは、都道府県協会がリクルートすればよい。
それ以上になると個人情報提供の同意を1人1人とするのは難しいし、特に未成年者に関しては、保護者の同意が必要であり、それは不可能に近い。その話についても学連で話すということをJOAで話してきた。
私の意見としては、ざっくりな情報だけ登録して、あとは、やる気のある都道府県協会が、個人的に登録してもらえばいいのではないかと思う。

山田(晋)
木村

年会費はいくらか。
年会費10万円だが、都道府県協会は実態がないので、5万円が組織運営金としてバックされている。
私の提案として、日本学連にはバックは必要ないと思う。それは、まず規模が違うためである。学連は1000人規模だが、都道府県協会の中には、30人規模のところもある。学連の登録人数がJOAの登録人数と同じくらいである。相手は、30都道府県くらいである。その代わりに、都道府県協会では、例えば競技者登録しているが、学連が10万円を1000人で払うと考えると、1人100円になる。

山本
木村
山川

ここでは何を決めるのか。
ここでは、個人情報の取り扱いについて決めたい。
JOAの希望としては、今いるところと田舎の情報を出してほしいと考えているのか。

木村	僕の意見を言うと、登録時に、大学経由でいろいろな情報を学連に登録するが、その際、大学名、氏名、性別、年齢、登録地(住所)、ふるさと登録(記載がなければ大学所在地)を登録者リストに記載すればよい。それ以上は、個人情報であり、問題になるので、(登録する)必要はないと思う。
山田(晋)	日本学連の個人情報の管理の現状を言うと、大学名と氏名しか集めていない。現在は、学校代表者を通して、各々に連絡している。基本的に個人情報を持っていない。ただ、2010年までは住所なども集めていた。
木村	インカレの登録はどうしているのか。学年や登録年度は。
山田(晋)	事務局から情報を出すことはしていない。 学連登録番号はあるが、住所・電話番号などは持っていない。なぜそれをやめたのか、については、まだ確認していない。現実的に活用する資金がないのか、インカレの時に事務局を通さなくなったから、集めるのをやめたのか。
木村	そうかもしれない。
山田(晋)	学連登録を受けて、番号を打って、インカレを申し込むときに丸を付けるようなやり方か。それは昔のやり方か。
山田(晋)	それに近いものである。事務局の仕事のイメージとしては、来たものに、番号を付けているだけである。
木村	現実的には、やろうと思ってもできない、個人情報を持っていないので、出せないということか。
山田(晋)	出せない。ない。
木村	JOAとして、まともに競技者登録を機能させようとする、生年月日(これで年齢がわかる)・性別・氏名は必須である。
山田(晋)	今の話だと、昔は住所を持っていたが、今は持っていないということか。
山田(晋)	そういうことだ。昔より、だいぶ情報量は少ない。
山田(晋)	生年月日の情報は、持っていないのか。
木村	生年月日の情報は、かなり重要であり、保険の関係でも、スポーツ団体である以上、これら3つの情報は一般的には持っているもの
山田(晋)	確認を取る必要がある。
木村	そういう問題はあるが、全体の方針として、例えば、今度、僕がJOAの理事会に報告するときには、やろうと思ってもそれができないし、今の段階ではハードルが高すぎるから、やめた方がいい、と言っておくのがいいか。
山田(晋)	あと、JOAの総会の時に、話になったのが、(学連には)未成年者が多くいることだ。保護者同意が取れない。そこまでいっても、ハードルがより高くなる。
山田(晋)	登録しているのは、大学名、登録番号、氏名、学年、性別、生年月日である。
木村	今提案したように、ふるさと登録について質問し、回答がなければ、無条件に大学の所在地ということにする。
山田(晋)	JOA側としては、それで問題はないのか。
木村	そういうことをやらなければ、何も得られない。今は、何も無い。
大西	ちなみに、やる気のある都道府県協会は、具体的にどう連絡を取るのか。
木村	まず、大学がわかれば、大学の知り合いを探すとか。
大西	それはかなり手間になってしまうのではないのか。
山田(晋)	それは、宮城や愛知、新潟はうまくいっているが、それ以外はうまくいっていない。
木村	現状でもうまくいっていない。
山田(晋)	東京都も同じだ。学生側にも問題がある。それでも、OLKや早稲田は頑張っ、そこに入った。今は知らないが、昔は、都の会合にも出ていた。
木村	JOAといわれても、ぴんと来ないかもしれない。日本学連が創立されて何十年も経つが、オリエンティアの50歳以下のほとんどは学連出身者であり、今となっては、JOAの約半数が、学連出身者が占めている。全く知らない人たちの組織ではない。ぜひ、学連から総会や理事会に出席してほしい。
山田(晋)	スケジュールの方向性はこれでいいのか確認したい。JOAは来年には加盟してほしいということだ。秋の総会で決定し、春の総会でもう一回確認して加盟という流れである。
山本	秋の総会では、細かい調整事項はあるものの、この方針でいいのか確認するのか。
木村	そうである。
山田(晋)	僕らは、きちんと根っこを張った議論をしないとイケない。お金や活力の面で、かなりあてにされている。
木村	オリエンテリング競技人口の半数は学生。これを抜きに、日本のオリエンテリングの現状は語れない。本来ならば、JOAが日本の一つの(競技)統括団体を名乗るうえで、学生を迎え入れていないことの方が不自然である。
5.パンチングシステムに関する細則について(14時20分～14時28分) ●現状の規約が古く、時代にあっていないので、今度の総会でこの細則をなくすように承認をとることになった。	
大西	資料配布 規約は技術委員会がこれまで改定してきた。その派生形として、パンチングシステムに関する細則が2001年にできている。大まかに説明すると、インカレでは、EMITまたは針パンチの2種類のパンチのどちらかを使用し、それ以外を使用する場合は理事会の承認を必要とするという規則である。 この規約のせいで、SIを使うには、技術委員会および理事会の承認が必要となり、ハードルが高くなっている。その一方、針パンチは、今では大会であまり見かけない。この規約はもういらぬのではないかと、思う。そこで、幹事会で皆さんの合意が得られれば、この規約をなくしてしまいたい。つまり、(今後、)インカレにおいては、計センシステムを自由としたい。 これが作られた背景には、当時、バックアップという面で、EMITのバックアップラベルを重要視したのではと思う。ただ、去年のロングではSIが使われた。世界的にみると、SIとEMITは世界的には半々のシェアである。マイナーなもの他に3種類存在しているが、日本で持っている団体はない。
山田(晋)	規約ができたのは、EMITを使い始めたところである。
木村	SIは、当時、新参者で、まだ実績がなく、安定していなかった。みなさんが慣れていなかったのでペナが多かった。
大西	寒い日はユニットが起動されていないことがたびたびあったが、今はそんなことはない。SIかEMITになるだろうが、自由にしても、それほど問題はないと思うので、僕は破棄してしまうと思う。ただ、総会の決議が必要。 今年のインカレロングでは、SIの使用が決定している。その主な理由は運営者が慣れていないからであり、昨年度の実績もある。 去年のロングでは、初期起動の問題は起きなかったのか。 その問題はなかった。
山田(晋)	細則の5条には、改正には総会の承認が必要となっている。細則を読んでもらい、承認を取りたい。
山田(晋)	今回は秋の総会で破棄してしまうということか。
大西	今この場で議決を取っても意味がない。秋の総会で破棄をしたい。 →幹事会では特に反対意見はなし。
6.千葉大・東工大大会の共催について(14時28分～14時56分) ●山川から進展の報告があり、今回の特殊な状況を鑑みて、共催について承認した。 ●千葉大・東工大がインカレについて有利、不利にならないように山川がしっかり調整することが確認された。	
山川	資料配布 昨日(6月7日)、会場となる地元の小学校の校長先生のもとへ、千葉大・東京工業大とともにやってきた。校長先生には、温かく迎え入れてもらった。基本的に、栃木県協会にも理解してもらっており、インカレと早稲田大会、千葉大・東工大大会と、3つセットで、栃木県協会は渉外をしている。日本学連の新しいシステムによる大会の開催方法については、一回会いに行くことと、文書により、一通

あと、インカレとセットで渉外をしているのと、日本学連として、去年の今のタイミングの幹事会から、時間をかけて議論している。特に千葉大・東工大大会に関しては、インカレと隣接していて、同じ渉外をしなければならないのと、地区が重なっているところがあるので、お金の流れは早大OC大会と同じであるが、主催後援については、名前だけは日本学連共催、すなわち、日本学連の主催事業として開催するのがいいのではないかと、千葉大にアドバイスを、そういう風に書類を出している。共催ということは、格付的にはインカレと同じという位置づけである。売上としては、インカレの半分以下、3分の1以下であるが、意識的には、インカレと同列の大会となる。しかも、去年1年議論してきたように、現在、東大・京大・東北大・名大・新潟大・金沢大ぐらいしか大会ができず、特に関東では、昔、強豪校だったところが、中堅校あるいは弱小校となっている状態を、このプロジェクトによって、もう一度勢いを取り戻そうという、日本学連が総力を挙げる、一大事業であり、そのためにお金を使おうということである。

もう一つは、お金の流れについてである。去年1年間、話をしてきたが、早稲田大の方から、あとでもめないように、文章にしてほしい、との要望を受け、今回はっきりと文章にした。

昔は、印刷屋に地図を出し、印刷費として請求したが、今はオンデマンドとなり、プリンタで地図を印刷している。そのため、どこで区切りをつけるかという点で、試走段階は制作費用のうち、実際に地図が完成して本番の設置をするところからは、商品物だという考え方で、インカレでは、やっているが、早大OC大会、千葉大・東工大大会に関しても、同じ考え方で行く。山川さんの言葉で文章にしてくれということなので、文章にした。

まずは、共催についての議論をお願いしたい。

山川

学連にとつて、(この大会の共催は)重要な事業と思っている。OC大会はともかく、千葉大・東工大大会では、去年風呂敷を広げて、たぶん(大会開催の立候補が)出てこないだろうと思い、セレクションで赤字にならないように(地図製作を)やっってしまうという保険を付けたのだが、結果的には、手を挙げてくれたので、それでやるというもあるし、関東の他の中堅校・弱小校が続いてほしいというのものもある。位置づけ的には、日本学連の今後を占うような、大きな事業だと思っているので、そういう意味でも、主催にしておきたい。

平野(弘)
山川

学生日本一を決める、インカレと同等であるのは、少し違和感がある。ネームバリュー的価値が、この大会にあるのか。

インカレだけが(学連の)主催事業ではない。日本学連が主催し、責任を持ってやっていく、という意味であると思う。チャンピオンを決めるのは、別のアプローチで議論することである。

内心で思っていることを言えば、オリエンテーリングが進化してきて、今の雰囲気だと、こういう策をひとつでも打たないと、たぶん、強いところ(東大・東北大)はより強くなり、中堅校はますます置いて行かれるようになる。今後、より高いレベルで競い合っていくには、まづいのではないかと、将来への投資という視点から、去年から力を入れて取り組んでいる事業である。

たまたま、OCと千葉大・東工大が手を挙げたので、今年一生懸命取り合っているが、筑波や慶応など、他も手を挙げてほしい。昔の、関東4大校と言われたように、みんなに輝きを取り戻してほしいので、今すぐ成果は出るような事業ではないが、非常に楽しみである。僕は思っていて、取り組んでいる。昨日聞いた話だと、千葉大は(今年)1年生が17人入部したそうだが、それが大会を通じて、いろいろなところや僕と、高いレベルで触れ合って、2・3年ぐらいしたら、もしかしたら、もっといい未来があるのかなと、期待して行う事業。栃木には、未開のテレインがかなりの数があり、昨日、渉外の寄り道として、彼ら(千葉大・東工大)を案内した。会場があるところはインカレで、会場からもう少し離れるところは、千葉大・東工大のように、立候補制で、クラブの勢いを取り戻そうとするところへネタを振る。もちろん、それは、もう一つの思いとしては、プロを複数人食わしていかないといけないので、そのための仕事の範囲を大きくしようと考えている。

この流れで話すと、去年、毘沙門山(の地図作成)を120万円で契約したが、僕が調査に入る前に全部使ってしまった。面積的には6割だが、これから、僕は、ただ働きで調査しなければならない。その費用は足りないが、要求するつもりはないし、僕が全部やる。結局、印刷費用として後から入ってくるし、最終的には、一人の企業なので大したことはないが、前の社長のように、お金がなく前途が見えない状態よりは、逆に、120万円を2人のプロマッパーのために使い、僕自身のお金はなくとも、最終的にはいろんなことに派生して、会社は逆に伸びていくので、こういうのもいいかなと思い、僕は心地よくお金を払っている。

千葉大・東工大大会だけで終わりではなく、今後もうこういう話が出てきてくれればいいし、栃木には、そんな山がまだまだたくさんあり、先のことまで考えてこの事業を決めていきたいと思う。その最初となるので、是非とも、千葉大・東工大大会を肝いりとして成功させたい。

平野(弘)
山川

今後、こういった大会は、同じような申請を取るのか。

今は総会に全部かけているが、地図会計制度ができれば、その流れがもっと動きやすくなるような形で進めていく。それは学連の2400万円の内部留保金をどうやって有効活用するかという、3・4年の議論になる。

→千葉大・東工大大会共催については、承認(賛成13)

山川

インカレの前に千葉大・東工大大会が開かれるが、インカレ実行委員会からも、話がいろいろ出ている。

どこからも疑問がでないように、きっちり調整をしてくれ、ということである。この事業が肝いりの事業であることは、インカレ実行委員会も知っている。インカレ実行委員は千葉大・東工大大会の範囲には入れないし、千葉大・東工大も、先にインカレに関して有利になるような情報を少しでも知ってしまったら、この事業は問題になるので、きっちり管理しよう、ということが言われているため、ガイドライン。千葉大・東工大を案内したとき、アプローチの指定やインカレの範囲に入らないように、と言ってある。管轄地区は6地区あるが、重複する地区は、私が調整し、同じ地区にある公民館でも、インカレ側にある公民館は、千葉大・東工大では使わないように、と言ってあ肝いりの事業なので、むやみに千葉大・東工大にプレッシャーをかけることや、不用意な発言は控えてほしい。有利不利にならないように、僕のところできっちり情報管理している。もちろん、大会が終われば、合宿や練習で使うようにする。もっともインカレ対策になるテレインである。利用する皆さんにも、アプローチの仕方には指定はあるが、同じように開放する。そのあたりは両方に関わる僕がきっちり管理する。学連の肝いりでやる事業なので、自由に発言するのは構わないが、不用意な発言は控えてほしい。有利不利はない。千葉大・東工大は先に試走ができるが、それは先に手を挙げた学校の特権であると思うが、他の学校は、その分、集中的に合宿

7.不働の滝(南)と日光愛宕山の完全接合地図作成について(14時56分~15時15分)

●地区学連はまだミドルセレのことは決まっていない。どこかの地区学連がここでミドルセレをすることになった場合、日本学連は次の幹事会でこの事業について承認することが確認された。

山川

(ミドルセレについての)話し合いの結果を聞かせてほしい。

千葉

北東は引き継ぎの関係でまだ話し合いができていない。

佐藤

関東は特に反対なし。

高嶋

北信越では、大学ごとに意見を出してもらったが、反対意見はない。ただ、運営面で問題があり、開催してくれるのであれば、そこに入りたい。独自セレは厳しい。

山川

不働の滝(南)では練習会が始まっている。(ただ、その開催の条件として、)尾根まではOKで、コンタリングまではやめてくれということにしてある。その反対側まで飛び出る練習会もたまにはあるが、話し合いの結果が見えるまではやめる、ということになっている。実際にセレクションとなったなら、その尾根を越えてルートチョイスしないといけないが、そこは公平さについて議論になる。細かいところはここの中でやって、尾根を越えていくレグは、ルートチョイスでカバーしようとするのだったら、5キロくらいはこれでいける。

(今年3月のミドル)モデルイベントの範囲内(である日光愛宕山)には、それだけのネタがあり、日光のあらゆるテレインの要素を兼ね備えたような場所である。(使用したのは)モデルイベントで使ったときぐらいであり、ほとんど初見であるから、(ミドルセレの開催場所としては)いいと思う。

ただ、これの具体的な決定権はほとんど北東・関東の学生にある。それ以上のことは、僕は強く推せない。3月の段階では、いきなりになってしまうので、考えさせてもらうということで持ち帰ったが、今日の段階ではどうするかまとめてほしい。

山本

決定権があるのは、日本学連なのか。

山川

幹事会の決済内である、20万円で済む話なので、この事業をやるかどうかは、幹事会の決済になる。

山本

(仮にミドルセレで)使う、と北東・関東が言っても(他の地区学連に所属する大学はどうなるのか)。

山川

京大とかも、年に1回ぐらい合宿に来るので、恩恵がないわけではない。

山本

地区学連がお金を使うわけではないので、地図を作ってくれたらうれしい、というくらいしか、(ここでは)意見が出ないと思う。

山川	お金の流れとしては、日本学連が20万円を投資することになる。ただし、それを一気に解消する、一番手っ取り早い手段は、北東と関東がセレクションをやることである。
新谷	(地図を)作ったら、関東と北信越はセレクションをやる方向で決まったのか。
高嶋	まだ決まっていない。
佐藤	その決定権は、彼らにある。
山川	やるなら作ってもいいが、今、ここで作るのを決定しても、セレクションをやるのが決定していないので、決めたところでどうしようもな
新谷	持ち帰って置いて、幹事会のメールの決済をするとかどうか。
山川	また幹事会でやるのもいい。
山本	引き継ぎ資料によると、(ミドルセレの事を決めるのは)ロングセレが終わった後ぐらいである。
佐藤	明日の東大大会のあとに、(北東学連は)ミドルセレクションについて話し合う。
千葉	どういう話し合いが行われるのか。
山本	東北大OBの松澤さんから、青森でミドルセレを開かないか、というお話があったので、それについて話し合う。
千葉	松澤さんが、北東学連の諮問委員会委員長で、時期は、確か10月26日・27日の2日間大会で、青森で行われ、公認大会になるら
杉村	しい。ロングの2週間後がいいのではないかということだ。松澤さんは、青森を一応推している。
平野(弘)	出ている意見としては、時期が早すぎるからという、反対意見がある。
山田(晋)	仮に、今回作って、どこもセレを開かなかった場合、どのくらいの損失が出るのか。
山川	毘沙門のときは早く通したかったから、120万という形になって、次の矢板では、160万円であった。ただ、毘沙門の場合はそのあたりでセレをすると思ったが、この場合は、セレをするには、たぶん7~8年かかる。
山田(晋)	これ(地図接合)には、千葉大・東工大大会のような、そういう意義は無くても、単にそっちとこっちの地図をつないでいけば、使いやすい、ロングセレがやりやすい、というレベルの話である。
山川	売れる地図として、買うものとしては、不動の滝(南)がなくなって、そっち(日光愛宕山)になるのだろうか。
山田(晋)	不動の滝(南)として売ってもいいし、これを売ってもいい。
山川	日本学連として売れる地図の枚数は、不動の滝(南)が減って、こっちの新しい地図が増えるだろうから、売れる枚数としては、セレク
山本	ションが開かれた場合、たぶん変わらない。そうすると、なかなか厳しい。
山川	ラインナップが増えるという点では、メリットがあるかもしれないが、実際に、これ単独で会計をやっていくとなると、長いスパンになる。そこは議論のフォーカスをどこに置くかによる。
山本	ミドルセレで使う場合、(地図代は)700円とか。
山川	いや、一緒である。350円である。実際、今度の関東のロングセレは、3月の幹事会で通してもらった、日光基本トレインメンテナンス作業の20万円という中で調査をし直して、A4・15000分の1だから400円で売って、今度セレをするが、関東が日本学連に払うお金は350円とか400円である。特段高いお金はとらない。ミドルセレに関しても同じである。地図のメンテナンスや地図接合調査にかかる費用は日本学連の幹事会決済枠の20万円で負担するという流れになる。
大西	地図会計ができれば、決議する場所が変わるが、先に現実の問題になっている。
山川	ちなみに、調査する余裕はあるのか。
大西	実際は毘沙門山も、僕が調査するのは少して、みんな、他の若いプロにやらせている。しかも、命がけでやっている。千葉大会やインカレを若いプロにやらせて、僕は、こういうのを、しこしこやっている状態である。現場の活力は、若い人の仕事を増やすという、しかも、僕がやるより高い値段で使っている。実際、西村氏は自分で会社を開いて仕事を入れているが、三上氏は僕が作る仕事にかなり頼っている状態で、彼の収入を確保してあげないと厳しいだろうな、というところであり、9月からいっぱい働かすつもりでいる。
山川	要するに、僕の側から言わせれば、プロを複数稼働させるために仕事を増やしている状態であり、逆に僕はお金を持ち出しているし、プレッシャーを1人で引き受けている。若いのが出てくるためには仕方がないかという状態である。精度に関して文句が出たら、その責任も私が負う。早めに出す。今月末、OC大会の試走があるが、文句が出たらもう一回直しに行くという感じである。基本的に、最初の調査は若いプロが行うと思ってほしい。たぶん接合調査は私が行き、逆に千葉大やインカレの地図調査は現場は若いプロが行
大西	つまり、余裕があると解釈してよいか。
山川	余裕はないが、頑張ります、ということだ。それくらいマーケットが広がっていないと、若いプロが生きていけない。
佐藤	(接合は)何月ごろにできそうか。
山川	千葉大大会の地図は、文化の日までには完全にできている、という約束であるので、それからである。千葉大大会までの間には試走ができる。
佐藤	ミドルセレの日程は関東が12月8日、北東は24日である。試走ができて、2週間後に(ミドル)セレとなると、もし何かあった時に、運営者の負担的に厳しい。今年のミドル(セレ)で使うには難しい。
山川	そこをどう考えるかである。初見なので、基本トレインで、細かい有利不利については全部目をつむって、運営日程を優先するか、ほぼ100%初見でオープンな状態でやるか、はかりにかければいいのかと思う。
佐藤	実行委員長と話してみる。
山川	1番のメリットは、全員にとって、ほぼ初見であるということ。しかも、日光トレインのあらゆる要素を、バリエーション豊かに持っている場所である。売りとしては、そんなものである。そこは、僕には決定権はない。この範囲だったら、実際に、地図調査しないといけないのは、1週間ぐらいであり、あとは始動して調整すればいいだけである。
山本	たぶん、日本学連としては、ミドルセレに使うかどうかわからないので、決断できない。ミドルセレで使う、と言われたとしたら、いいよと言っておかないと、関東の人も困る。(ミドルセレを行うのが)関東だけかだったら(どうなるか)。
山川	セレが一発あれば財政的には問題ない。
山本	とりあえず、今は、もし、関東か北東が、セレクションで使うことが決定されれば、次回の幹事会ではゴーサインを出すということを確認することにする。次の幹事会までに、関東や北東は、それについて、話し合ってほしい。
	途中休憩:15時15分~15時28分
	8.地図会計について(15時28分~16時00分)
	●規約案について議論し、いくつか改善案を出した。学生側で担当者を決め、様式の項目のたたき台を作ることになった。項目案ができたならそれとあわせて規約についてさらに議論したい。
山川	資料配布 地図会計には、あまり進捗していないそうである。僕の方で、個別の話ばかり始まっており、後追いで理論づけしろ、という状態である。難しい話であると思うが、理事には細かく読んで突っ込んでほしい、と言っている。(今は)個別議論ばかりしている。この話は、日光和泉の版權から、始まっている。 地図会計という別会計にして統括して議論したい。(規約案第7条の)6番に関していうと、幹事会では、20万円の決済枠があるが、それが幹事長や地図担当理事になると、15万円になる。それは議論のやり甲斐があるところである。今は2段階だが、3段階ぐらいがいいと思う。実際に、総会で50万円をやっていたら今と変わらない。 ここ2年間で議論に挙げていたことは、結局20万円を少し超えたのは、木村理事のセレクションで、20万円を切るような形で、項目を分けてのいいた。そうできなかったのは、日光和泉の版權買い取り、毘沙門山、千葉大・東工大大会であった。それを総会に通さなくないようには、もう少し考えたほうがよい。僕の思い付きだが、総会を通さないといけない額を200万円ぐらいにする、とかである。かといって、個人決済ですべて認めるのも、問題であるので、その辺の案をうまくまとめた。50万円が総会をやるのだったら、金額の決め手や3段階というのは、どのくらい考えたのか。
筆谷	

山川	今、思い付きで言った。今の毘沙門山や千葉大・東工大大会の事業は120万円では不足するので、160万円で収めないといけないと思う。それを総会を通さなくても済むようにしたい。ただし、個人でそれを決めるのも問題なので、どこまでシェアをして、どこまで了承を取るのかということ話し合ってもらいたい。
山本	やるとしたら、幹事会でやるとか。
山川	幹事会承認で、メールでもOKにするとかにするのもいい。理事会承認は、ほぼメールでやっている。明文化しておくといい。齊藤理事(地図会計担当)から何度か質問を受けたが、もう一つ重要なのは、お金を握るのは私ではないし、あってはならないと思う。僕は、発議はするが、お金を握るのは、日本学連の会計にやってもらいたい。ただし、総会決議というところを外して、もう少し自由に動けるようにしましょう、というのがこの案である。
山本	第7条の6では、日本学連幹事長及び地図会計担当理事となっているが、第4条の方では、正責任者は会計担当となっている。そこは、幹事長ではなく、地図会計なのか。
山川	判断するのは、幹事長の方がいいと思う。幹事長及び会計としておこう。
山本	(第7条の6は)幹事長及び会計及び地図会計ということになる。
山川	あと、もう一つ目指しているのは、僕以外の人間が発議できるようなシステムを作っておきたい、ということである。アマチュアが発議して開かれたインカレロングはあるが、今度のロングは(僕以外の)他のプロが発議して開かれる、初めてのロングである。そういうのも、日本学連の規約上OKであるように、文章として入れておくように、指示は出してある。
筆谷	9条の2も同じようなことが書いてあるので、それも考え直さなければいけない。あと、(第7条の6番だが、実感としては、幹事会枠として20万円というのがあるが、一つ一つの議案について、実際やってみると、20万円ぎりぎりまで行く。6番も、15万円というよりは、20万円にしておいた方が、安心かなという思いがある。やってみての感想だが、20万円と200万円の金額の間が空きすぎるので、その間に入れるか、齊藤理事にも考えさせたいし、明日、筆谷理事長が、直接会って話してみる。話し合うようなことは、そのくらいしかない。
筆谷	金額はともかく、決め方の基準として、総会で決議する、理事会なり幹事会で決済するのと、地図会計担当理事と幹事長・会計の判断という3段階があり、その3つで、それぞれの計画をどうするか、というのを議論し、理事会の意見を含めて、その後(動くということ)でよいのではないかと。
山川	あと、様式はどうなるのか。
筆谷	細かい素案ができてこないとチェックのしようがない。
山本	それができるのだろうか。
山本	様式も合わせて考えてくるのがよい。とりえず3段階というのが幹事会の方針でよいか。3段階がいいのか、2段階がいいのか、学生にはわからない。
筆谷	山川さんの経験則的には、どうなのか。
山川	ここ3年ぐらい、個別でやってきたもので当てはめると、50万円で総会(にかけると)だったら、何も変わらない。
山本	そこを変えた方がよいのではないかとということで、様式の方に直していきたくと思う。
筆谷	次に、規約案内にある様式の作成について、それぞれどのような項目が必要なのか、考えたい。
筆谷	様式1(地図事業計画書)なんかは、後援申請みたいなものは、あんまり変わる必要はないのではないかと。いつどこで、などというのを書くものであるものでよいか。
山田(晋)	(様式1で書く内容は、)主催団体名、事業名、開催日時、場所、開催規模、理由、内容である。
山川	第6条の方では、事業の提案というのがある。地図作成者が大会を開くかはわからないのか。
山川	今回の千葉大・東工大大会は、僕の方から、風呂敷を広げて、手を挙げたが、どこかの大学が、このような制度を使って大会を開きたい場合の窓口についても、この文章に入れておきたい。それが第6条である。後援申請。その大会をやりたい大学が、地図代を学連持ちにして欲しいという議案も、有りにしておきたい。
山田(晋)	(それだと、)第6条と第7条の事業計画書は違うものではないのか。
山川	うまくそのあたりを、文章の構成を考えて書かないといけない。第6条にもう1項目(第3項として)分けて、提案する場合について、もう少し細かく書いてある方がよい。
筆谷	(第6条2項と1項には)違いはあるのか。
山川	違いはない。
筆谷	事業の計画のところと、そんなに変わらない。
山田	地図会計の話は、最終的にいつ結論を出すのか。
山川	個別案件で動いているが、先に進まないといけないので、期限を決めたほうがよい。
山田(晋)	いつ発行予定であるかというのはまだ決まっていないのか。
山川	齊藤理事次第である。早いほうがよい。
野本	今日はどこまでやるのか。
山本	齊藤理事のメールに従って、様式について考える。
野本	今日やるとしても、読み合わせに留めておいたほうがよいのではないかと。
山川	齊藤理事は忙しいようなので、誰か一人学生が入って支えて、うまく欲しい。
山田(晋)	この内容的に、会計監査の担当である気がする。
山本	様式ができてから、また話したい。新谷(副幹事長)がたたき台を作ってy-uofjメーリスに流す、ということをお願いしたい。
9.理事会報告(16時00分～16時09分) ●インカレロングの実行委員長は松澤さんで、ミドルの実行委員長は寺岡さんである。SIの話はOK。	
筆谷	基本的に報告することはない。 何度か言うように、昨年までの理事が高齢化してきて、若返りを図るために、理事を入れ替えた。みな社会人なので、顔を合わせるのがなかなか難しい。うまくいっていない、という気がする。 理事長として、私が幹事会に出たのは、昨年からで、それに参加するのは久しぶりだった。学生団体なので、役員の方がガラッと変わっていて、そういう中で継続して議論するのが難しいというのが、学連の性格である。これは永遠の課題なので、どう乗り越えるか。幸い山川さんや木村さんなどの大先輩がいる。変な方向に行くことなく、今日まで来ている。学生連盟の組織をどう持っていくのか。 今日、初めて幹事会に出た人も多い。思うことはあると思う。なかなか発言するのは勇気のいることだが、別のところでも、意見交換やコミュニケーションをとって、組織として1歩でも前に進みたい。 個人的には、以前、学生としてオリエンをやっている人と、付き合いで会うことも多い。昨日も、東北大の古いOBと飲む機会があり、その中には土方さんもいた。彼らが、皆、今も競技をしているというわけではないが、学生連盟やオリエン界の方向性に興味がないわけではないので、それぞれの持ち場で、協力してほしいと話した。OBの活力も生かしていきたい。
山川	SIの話はOKである。あと、インカレロングの実行委員長は松澤さん、ミドルの実行委員長は寺岡さんである。
大西	アドバイザーはまだ承認されていないのか。
山川	決まっているのかもしれないが、正式な承認は、まだ先かもしれない。単に、動いていない。
10.技術委員会報告(16時09分～16時19分) ●技術委員会のML登録者は20人ほど増えた。この人数を利用して学連合宿を開くなど活動していきたいが、日程が確保できなくて困っている。また、合宿でなにを教えて欲しいかという要望も聞きたい。	

大西	去年の春インカレ前に話をしたように、加盟校から(卒業生を)1名出してほしいということで、現在MLIに登録されているのは24人いるが、そのうち、今年度から新しく登録された各大学のOBは20人いる。増えても、あと2・3名である。最近、徐々に増えている状況なので、まだ、何かしてこうという、メールを流せていないが、これから計画していこう、と思う。
山川	広報すべき対象が20人増えた、という認識でよいか。
大西	20名くらい実質いるとは思っていない。全国各地に散らばっている、メールを流す人が、20名増えたということである。去年は実質3名ほどでやっていたので、人数としては増えた。 今年度の予定としては、この人数をうまく活用したいということで、学連合宿や講習会を開いていきたいと思っている。すでに地図関係の講習会を開かないかという話が、JOAからのお誘いがある。その日程はまだ未定。あと、コースセッティングとか、余裕があれば学連合宿は、できれば3回開きたいが、今のところ、9月の日程が少ない。北海道大学大会の週に開きたい。インカレロング2週間前なので、そこで開きたい。
関東	その日は、関東学連で新人戦がある。
山川	北海道大学大会は公認大会か。
山本	公認大会である。
木村	他には、京都・大阪というのもあるらしい。
大西	日本学連として、開く日程がない。どこの日程ならよろしいか。インカレは10月ののはじめである。インターハイの週とかよいか。
木村	インターハイの週とか、京大大会の週とか、東北大学大会の週とか。
山川	どこでやってもきつい。
大西	インターハイの裏で、宿だけ取って、みんなで夜メニューだけこなすという形になってしまうのか。
山川	インターハイだったら、交渉してOKならいいのでは。エクストラとか。
木村	年間220イベントあるので、どっかどっかで(他のイベントと)日程が重なる。
大西	次も厳しい。11月に開けなければ、1月になる。
山川	今年は、(イベントが)漏れなくある。いったもん勝ちの雰囲気がある。私も最近、「先に言わなければ、人気が取れない」と、焦っている。大事な、大きな大会も、すでに言い合いになっている。
大西	講習会でこういうのが知りたいというのがあれば意見が欲しい。講習会でも、なかなか開いたからと言って、それだけに参加するというのも、非常に難しい。できるかわからないが、ネットを介したような集会、遠いところの人もそういった形で、講習会を開いていきたい。ただ、技術的に、それが得意な人がいるかどうか、(というのが問題である)。
山川	スカイプでグループを作って、誰かに喋らせる、というのはどうか。
大西	そういうものよりは、ストリーミング的なものがあるといい。
山川	クリスマスの頃に日程を入れる、とかはどうか。そこしかないのでは。
大西	みんな合宿をしている。そこに学連合宿を入れても、誰も来ない。

11.各部局活動報告(16時19分~16時37分)	
山田(陽)	●会計：前年度会計が決算を取りまとめている最中。前会計のところでお金が滞留している。
平野(大)	●事業部：幹事会の会場及び宿の確保、明日(6月9日)引き継ぎ。
高橋	●広報部：日本学連メーリス(uofj-ml)の新規登録・更新、学連広報紙「いぶき」の作成(8月ごろ発行を予定)の作成。 いぶきについては、年3回は出したいと思う。
山田(晋)	●事務局：加盟登録関係、地図販売関連、後援申請、賛助会員の受付。
杉村	●普及部：賛助会員の呼びかけを開始。
平野(弘)	●渉外部：千葉大・東工大大会の渉外。8月中に矢板へのあいさつ回り。所野の後渉外をした。
山川	ロングのことにに関して、何か言えることはあるか。
木村	特になにもない。
山川	幹事会のタイミングで言えるものがないのも、問題である。 ロングは、手続的なことが少し遅れているらしい。幹事会のタイミングで広報できるネタがない。 ミドルに関しては、特に、テレインが千葉大・東工大大会と重なってくるので、きっちり情報統制している。例年より、立ち上がりがすごく早い。去年は、6月の第3週に、副会長と実行委員長が初めて地元挨拶をして、そこからスタートした。今年の場合はほとんど決まっています、6月1日に現地地下見をしたという話があって、まだ渉外も何もしていない、といって止めたほどである。 問題としては、渉外部と絡むが、2006年度の矢板開催時も、準備途中で、養鶏場や鳥インフルという、インカレが開催できるかどうか危ぶまれるほどの、渉外上の問題があって、僕が解決した。その後は、奈良のインカレは不成立になり、去年は秋のロングで、脅迫状によってテレインが使えなくなり、会場変更になった。日光は観光地なので、見知らぬ人が大勢来ることには慣れているので、そういう問題は起きないが、普通の里山で開催する場合には、どうしてもそういう問題が付きまとう。去年、この場で木村理事が話をしたように、(渉外上の問題が)オリエンテーリングという種目自体が常に持っているリスクである。いつでもそういうことが起こり得るということで、ロングが中止になった時も、そういうことに直面したわけだが、今回は、観光地ではなく、全くの里山でやるので、日光よりそういう危険性が高い中、インカレを開催することになる。そういうところで、渉外もなく準備をしようとしたので、動きを止めたわけである。日本学連の動きはすべて僕が負うので、勝手な動きはダメだと、注意をした。 今回に関しては、できる限り、直前に地主問題でそういうことが起きないような体制で臨みたい。それは千葉大・東工大大会でも、早稲田大会でも同じだが、なるべく調査に入る前の、渉外の段階から、そういう危険をきちんと察知する、例えば、地区長さんを通じてアンケート形式で危ないところを言ってもらおうとか、安全な地まわしをして、地域の情報をまめに仕入れてから入る、というようなことをし
山川	まず、我々が(何もしないで)大勢で現地へ行っても、日光に行けば観光客だが、矢板では不審者になる。不審者にならないような渉外をどうやっていくか、という問題に直面している、という考え方でやっていこうと思う。
山田(陽)	あとは、渉外部で報告がある。インカレに関しては以上である。 (会計に関しては)前会計が前年度の決算を取りまとめている途中である。通帳はまだ引き継いでおらず、今日の(幹事が宿泊する)ホテル代は、私の貯めたバイト代で立て替える。
山川	例年、小柳(前会計)から(出納関係で)最終的な精算をしてもらおう、いつも何十万円ともらえる立場だったが、去年に関しては、前回の会計報告が地図報告となっちゃうし、地図売り上げが莫大に上がったので、この間、僕が小柳・前会計に50万円ぐらい払った。そのくらい学連の資産は増えている。いろんな承認ごとを全部通して精算したのに、50万円ぐらい支払った。 あと、日光インカレの報告書が明日配られるそうが、(今大会は)70万円の赤字となった。学連のお金は、また増えていつている。 今、前会計のところでは、数十万円~数百万円が滞留している。
山川	会計が今何やっているかは、私もよくわかっていない。前会計に引き継ぎ資料を送るように頼んだが、音沙汰がない。
山本	何十年か前も、会計が機能しなくなり、何百万円単位でわけがわからなくなったことがある。
山川	(広報部に関して)さっきここで決めたこととOC大会の要項の11ページ目("V. おまけ"要綱Ver. 2では10ページ目)に書いてあることを幹事会だけでなく、全員向けにそのような新しいことを言いたい。
高橋	いぶきの記事として、"学連の動き"というようなものを別に作りたい。
山川	その早大大会の要項の文章とほとんど一緒だが、それを全員向けに書き直して載せてほしい。
杉村	普及部では小島(前普及部長)が2013年度賛助会員の呼びかけを開始した。明日(6月9日)の東大大会でその受付を行う。
山川	(渉外部に関して)塩田への放射性廃棄物最終処分場建設問題については、政権交代の後、ゼロから見直すという話になったが、反対派事務所は常駐して、見張りを立てている。僕も一度、自腹で差し入れを持っていったし、昨日(6月7日)も千葉大・東工大の学生5人でサインをしてきた。そういった渉外もしている。

野本 山本	<p>あと、(渉外部に關係する)お知らせとしては、日光和泉の公民館長が、10年間務めた前任の方から変わり、区の方針ということで、貸していただけなくなった。今後は和泉公民館を使わない。今度の関東学連セレは、市の公民館である、日光市中央公民館が会場に</p> <p>また、重要な点として、日光所野の後渉外に行ってきたことである。そもそも、そこは2003年に練習会をしていた者が地区の方ともめて、クローズになったテレインだが、今回のインカレでは、そのもめた方が、自治会長として、いろんな細かいことを引き受け、解決してくださった。例えば、明日配られるその報告書にもあるが、バス乗り場から会場までの道を横1列に歩いていて、地域の方に注意されたことがあった件である。後の練習に使えるように、ということで、後挨拶に行ってきたが、所野自治会は広く、モデルイベントのエリアまでがその範囲である。矢板インカレでは7地区へ挨拶に行くが、所野の場合は1地区で済んだ。その時に、自治会で林道清掃をやっているのに、旅館だけが潤うのは難だな、という話になった。寄付してくれたら嬉しいということだが、(要するに)キャッシュが欲しいそうである。一晩考えて、栃木県協会に掛け合い、5万円をもらった。その次の日には、インカレのお金を払った。(栃木県協会からの)お金のもと、(テレインに入った時に栃木県協会へ支払う)1日100円の渉外費であり、それが有効に使われるようになったということである。栃木県協会がないと、栃木県でインカレを開くのが難しくなる。</p> <p>岐阜県協会にも、そのような関係があり、報告しながら渉外をしているが、栃木県協会との間にもその関係ができた。僕は日本学連と栃木県協会の両方の立場があることになり、実際に経費が掛かった分については、渉外費として会計に請求する。日光所野で練習会を開くとき、(渉外には)最初は僕が行くが、2回目以降は平野(弘)(渉外部長)が行く。和泉や不動は、顔の知れた仲で問題なくやっているが、所野はその方の言いつけをもらったうえで、練習会を開きたいと思っている。学連が栃木でうまく活動していけるように、先のことまで考えて、やっている。今後、栃木で継続的に活動していくには重要な、大きな動きが渉外部にある。</p> <p>各部署の活動がわかるポストが欲しい。あと、引き継ぎの時のためにも、1年間のロードマップがあったほうがよい。それを作って、幹事長がわかるようにしたほうがよい。</p>
千葉 高嶋 佐藤 川上 宇井	<p>12.各地区学連活動報告(16時37分～16時50分)</p> <p>●北東学連：5月に引き継ぎ。明日(6月9日)臨時総会・ロングセレ、8月17日～21日学連合同合宿、8月17日北東インカレ、9月7日岩手大学・岩手県立大学大会、9月15日東北大会</p> <p>●北信越学連：3月上旬総会。セレクション(2戦制度)：明日(6月9日)東大会、6月30日東海学連セレ、7月中</p> <p>●関東学連：4月3日第1回総会、5月25日臨時総会、5月26日学連新歓フェア・オリエンテーリング大会。6月23日ロングセレ、7月6日第3回総会</p> <p>●東海学連：3月21日学連総会。6月30日東海インカレ兼セレクション、8月31日～9月1日学連合宿・総会</p> <p>●関西学連：4月29日総会、5月12日第1回定例戦、5月25日～26日新歓合宿。6月16日ロングセレ・総会</p>
山本	<p>13.次回幹事会について(16時50分～17時27分)</p> <p><次回幹事会></p> <p>●開催日：9月14日(土)(東北大会大会の前日)</p> <p>●開催地：宮城県(予定、会場は交通アクセスなどを考慮)</p>
	幹事会終了：17時27分